

1 教科について

国語

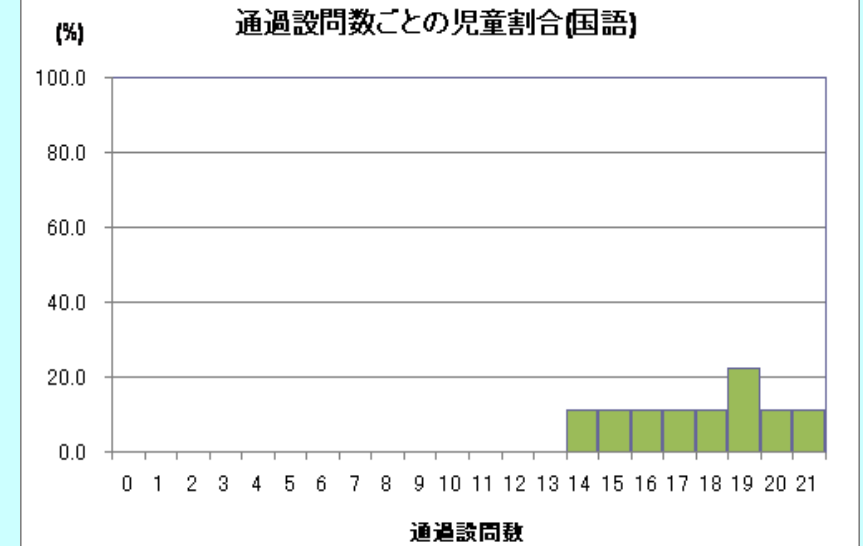
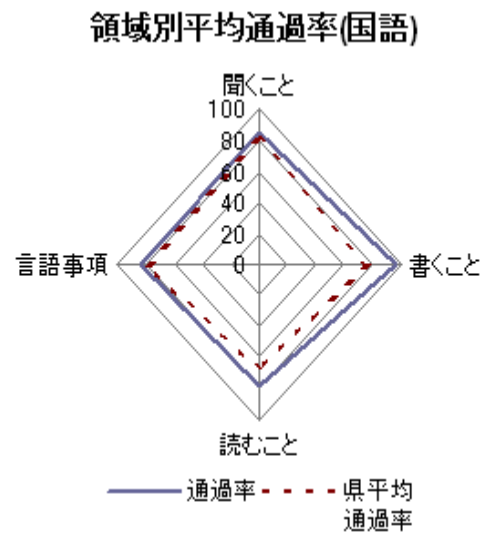
昨年度の課題

- ◎「書くこと」においては、どの項目も課題があった。書くための情報収集力・書く目的に応じた情報選択・書くことを明確にした構成力がいずれも50%で課題がある。
- ◎「読むこと」では、「叙述をもとに」読むことや、「段落相互の関係を考えながら正しく読む」ことが60%に満たなかった。
- ◎言語事項では主語と述語の関係が16.7%と大きな課題であった。

昨年度の課題を受けて  
具体的に取組んだ事項

- ①「書くことにおいては」作文のワークシートなどの利用によって、書くための情報収集・書く目的に応じた選択・書くことを明確にした構成力を児童が意識して学習できるようにしていった。国語の時間、「ことばタイム」日記指導などを中心として指導していった。
- ②「読むこと」では、叙述をもとに読むことの課題については、本読み、ノート作りなどに丁寧に取組むことを通して、叙述に即して読む習慣作りを行うよう指導した。段落相互の関係を考えさせるためにも、説明文などでは段落相互の関係が読み取りやすいよう、キーワードを考える、関係図を書くなどの指導も行った。
- ③「言語事項」では、週1回漢字テストや全校一斉漢字テストを実施し定着を図った。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **84.7%** 県平均 **75.0%**



重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査  
◇:全国学力・学習状況調査

- ◎「言語事項」においては、主語・述語の関係を考える問題が44.6%で課題がある。
- ◎「読むこと」では、「叙述をもとに想像しながら読む」ことや、「段落相互の関係を考えながら正しく読む」ことが66.7%で課題がある。
- ◇文学的な文章の表現の工夫をとらえるが33.3%で課題がある。
- ◇接続語を使って内容を分けて書く項目が16.7%で課題がある。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①「言語事項」では、週1回の漢字テストや学期毎の全校一斉漢字テストの実施や、「ことばタイム」で主語・述語の関係を考える問題を取り入れていくなど定着を図る。
- ②「読むこと」では、説明文を読む学習を通して、キーワードや接続語に着目し段落相互の関係を考えながら筆者の主張をまとめさせていく。その際、中心文を見つけたり、文章構成図を書いたり、小見出しをもとのキャッチコピーを考えたりするなどの指導を確実に行う。
- ③「書くこと」では、文章構成を意識した授業展開を考え学習を仕組んでいく。総合的な学習の時間や理科、社会科の学習で、課題解決に必要な情報収集をし、目的を明確にした文章を、学習した文章構成を使って書く活動を取り入れていく。また、「ことばタイム」では、リライト教材を中心にキーワード見つけや要約を指導していく。

来年度の目標値

- 県平均よりも3ポイント以上上回る。
- 読むことの段落相互の関係ポイントを2ポイント上げる。

# 指導方法等の改善計画について

## 算 数

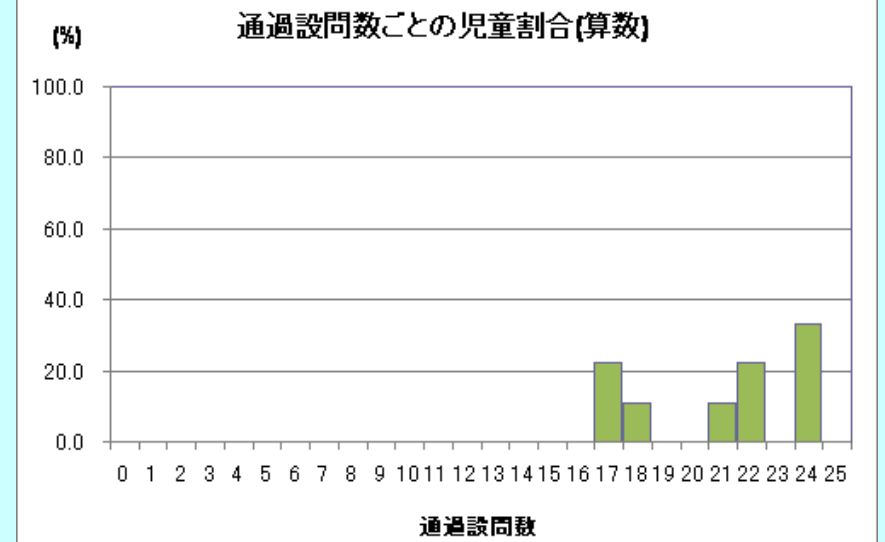
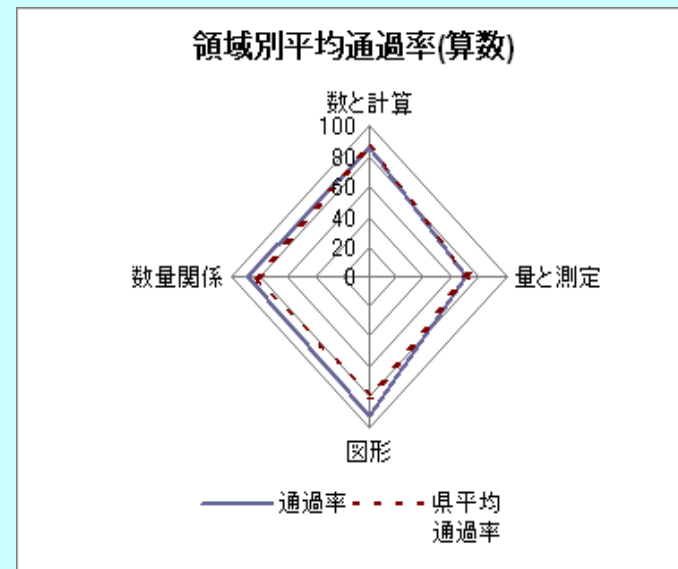
### 昨年度の課題

- ①「図形」では、「直方体の辺の数」「四角形の定義」など構成要素に着目して図形の性質・特徴をとらえることが十分でなかった。
- ②「量と測定」では、「面積や重さの単位」を正しく用いたり、「面積を任意単位のいくつ分と考えて比較すること」を用いたりして表現することができていなかった。
- ③「数と計算」では、「整数を十進位取り記数法によって表す」問題や基礎的な計算でも定着率が、70%に満たない問題があった。

### 昨年度の課題を受けて 具体的に取組んだ事項

- ①「図形」では、操作活動を取り入れ指導してきたが、基本的な図形の性質について定着していないと考えられるので、具体物を使った操作活動がさらに興味をもってできるよう活動内容を工夫した。学習後の定着にも課題があると考えるので、反復練習を繰り返すように指導していった。
- ②「量と測定」でも、操作活動を取り入れ、問題解決的な学習で学びあいを大切に指導してきた。複合図形の面積はよく理解できていたが、基本的な問題において誤答が目立った。学習後の定着にも課題があると考えるので、反復練習を繰り返すようにさせた。
- ③「数と計算」では、学習後の定着に課題があるので、目的を持った反復練習を繰り返すようにさせると共に意味理解に努めた。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **84.0%** 県平均 **79.8%**



### 重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査 ◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎・・・「数と計算」領域では、割る数が2位数の割り算、分数の意味の理解ができていない。
- ◎・・・「量と測定」領域において、かさや面積の単位がわかり、量にあった単位を使うこと、複合図形の面積を求めることができていない。
- ◎・・・「数量関係」領域において、伴って変わる2つの数量の関係を見つけることはできているが、その関係を立式することができていない。
- ◇・・・四角形の角に関する問題の正答率が低い。
- ◇・・・基準量から割合の大小を判断する問題に課題がある。

### 重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①単位分数の考えを図に表したり、○分の1のいくつ分と言い換えたりする活動を取り入れ、分数についての理解を深める。また、わり算の計算の仕方を忘れないように反復練習を行う。
- ②単位の前の数字の大きさに惑わされず、量にあった単位が正しく使えるように、様々な場面で日常的に単位を用いるような活動や話題を取り上げたり、ただ測定するのではなく、実感を伴って単位の大きさを理解できるような活動を工夫したりする。
- ③複合図形の面積は既習の内容を使って求積できることに気づかせ、大小の2つの長方形で問題作りを考えさせたり、日頃から図形に対する感覚が豊かになるように提示の仕方を工夫したりするなどして、複合図形の面積の求積ができるようにする。
- ④授業において既習の学習内容を使って考えようとする児童を育てるため、これまでとの違いを明確にしたり、答えの見当を立てたりして自力解決をし、言葉や図で表現し説明したりさせる。また、その時間に学習した考え方をを使った練習問題をやって1時間の授業を終わるように授業改善を図る。

### 来年度の目標値

- 県平均よりも5ポイント以上上回る。
- 数と計算の領域の通過率60%未満の児童の割合を0にする。